

# 5. 取り組みの方向

## 計画の体系図

### 将来像

一人ひとりが自分らしくいきいきと、安心して暮らしていけるよう、認め合い、支え合いながら、共に生きていく地域社会

### 基本目標1

一人ひとりの思いを受けとめ、福祉サービスや支え合い活動を充実する

- 1. どんな相談でも受けとめる**
  - (1) 身近な窓口である「地域福祉よろず相談」の定着
  - (2) 「地域福祉よろず相談」を担う組織・人材の育成
  - (3) 総合相談体制の整備
  - (4) 利用しやすい相談窓口づくりの推進
  - (5) 「地域福祉よろず相談」のバックアップ体制の構築
- 2. 必要な情報を必要な人にわかりやすく伝える**
  - (1) 地域福祉情報の収集・提供システムの整備
  - (2) 災害時要援護者情報の共有
  - (3) 情報共有機会の充実
  - (4) 必要な情報を伝え合う取り組みの推進
- 3. 地域で見守り、地域で生活を支え合う取り組みを開発する**
  - (1) 課題やニーズに応じた地区の支え合い活動の開発・推進
  - (2) 地域福祉の取り組みに合わせた福祉サービスの提供
- 4. 福祉サービスや支え合い活動の質を向上する**
  - (1) 福祉サービス・支え合い活動に対する評価・提言の推進
  - (2) 福祉サービス従事者・支え合い活動の担い手の研修・ケアの推進
  - (3) 安心して福祉サービスが利用できる制度の活用促進

### 基本目標2

一人ひとりの思いをつなげ、さまざまな担い手が連携できる仕組みをつくる

- 1. 福祉サービスや支え合い活動を柔軟にコーディネートする**
  - (1) 地域に密着したコミュニティワーク体制の整備
  - (2) 地域福祉ワーカーの支援体制の充実
- 2. さまざまな人や組織が連携してニーズに応えられる仕組みをつくる**
  - (1) 地区内の連携協働体制の充実
  - (2) 地区を越えた連携協働体制の充実
  - (3) 市役所内部の連携協働体制の充実
  - (4) 総合的に支援する機能の充実

### 基本目標3

地域福祉を推進するための基盤をつくる

- 1. 自ら地域で見つけ、きっかけをつくる**
  - (1) 地域の課題やニーズを発見する取り組みの推進
  - (2) 地区地域福祉活動計画づくりの推進
  - (3) 地区地域福祉活動計画を進行管理・評価する取り組みの推進
  - (4) 要援護者を把握する取り組みの推進
- 2. 学び合い、認め合い、わかり合う活動を充実する**
  - (1) 福祉意識・人権意識を高める取り組みの充実
  - (2) 支え合う意識を高める取り組みの推進
- 3. 地域福祉を推進する人や組織、場や拠点、資金づくりを促進する**
  - (1) 地域福祉を推進する組織の育成
  - (2) 地域福祉を推進する人材の育成
  - (3) 地域福祉推進拠点の整備
  - (4) 地域福祉を推進する資金確保の促進

## 地区地域福祉活動計画の策定検討などから始まった取り組み事例

### 基本目標1



柳原地区「あんしん便利帳」

#### 身近な相談機能の充実

柳原地区では、平成20年度に柳原地区地域福祉活動計画を策定し、この計画に基づき地域福祉活動を展開しています。平成22年度には地区内の相談窓口や地区内で利用できる福祉サービス等が掲載された「あんしん便利帳」を作成し、全戸に配布しました。

#### 支え合い活動の開発

信更地区では、平成21年度に地区地域福祉活動計画を策定し、この中で実施要望の高かった乳幼児とその親を対象とした交流事業を平成22年度より開始しています。



信更地区「子育てほっとパーク信更」



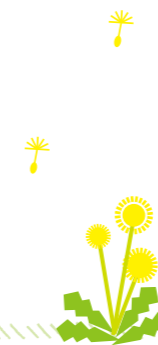
### 基本目標2

#### 地域福祉ワーカー支援

市では、各地区住民自治協議会が設置している地域福祉ワーカーの連携体制の強化及び資質向上のため、定期的に連絡会議を開催しています。



地域福祉ワーカー連絡調整会議



#### 地区内の連携協働体制の充実

古牧地区では、古牧地区住民自治協議会(地域福祉ワーカー)、地域たすけあい事業コーディネーター、かがやきひろば三陽(指導員)、地域包括支援センターニチイケア高田が、定期的にネットワーク会議を開催しています。



古牧地区ネットワーク事業

平成22年度には、地域の支え合い活動を推進することを目的とした研修会を、地域住民を対象に開催しました。

### 基本目標3

#### 担い手養成

中条地区では、地域住民自らが自分達の地域の良さを再確認し、そして人と人がつながる「場=縁側」を地域の中につくることを目的とした事業を、平成22年度に開催しました。これにより、地域の居場所や担い手づくりが地域の中に生まれました。



中条地区「まちの縁側づくり事業」

#### 地域福祉推進拠点

松代ボランティア室は、地域の人々が気軽に行く事ができる場所です。地域情報満載の掲示板やちょっと寄って話ができる丸テーブル、打ち合わせに使える机など、誰でも来る事が出来る工夫をしています。また、ここにはボランティア相談を始め、ささいな事にも耳を傾け日々の困りごとを受け止めてくれる地域福祉ワーカーがいることで様々な人が訪れる場になっています。



松代地区「松代ボランティア室」